

登録コード	F3A55720	開講年度	2026			
授業科目	テキスタイルデザイン				担当教員	ZHU CHUNHONG
英文授業名	Textile Design				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	繊維28番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	25Fカリ・先進感性，24Fカリ・先進感性					
	【2023年度以降カリ対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力				⇔	繊維やテキスタイルがあらゆる産業の基盤に位置付けられていること、現代社会における重要課題や技術課題を知り、これらを踏まえて先進繊維工学が取り組む学問の理解力を涵養する。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	天然繊維，化学繊維の製造や特徴などを解説する。 また、繊維工学の一環として、繊維材料から糸の製造についても紹介する。 織物、編物など構造と特徴について口述するとともに製造原理、設計方法を解説する。 授業は授業計画にしたがって実施するが、場合によって調整することもありうる。					
(5)授業計画	本授業は月曜の2限にて実施する。1コマ100分とする。 授業は以下のように計画している（進捗によって若干変更する場合もある）。 第1回：テキスタイルデザインとは 第2回：天然繊維材料(1) 第3回：天然繊維材料(2) 第4回：化学繊維材料(1) 第5回：化学繊維材料(2) 第6回：繊維材料から糸の製造概要 第7回：糸から生地 of 製造、前半まとめ 第8回：織物の設計と構造(1) 第9回：織物の設計と構造(2) 第10回：織物の製造方法 第11回：編物の設計と構造 第12回：編物の製造方法 第13回：3Dテキスタイルの概要 第14回：不織布の製造と構造 第15回：期末試験					
(6)成績評価の方法	1単位あたり45時間以上の学習時間（予習，復習も含む）の確保が必要。 授業に臨む態度も重要。 また、各回の授業時に行う質問に対する回答内容を重視し、レポート、小テスト、前半まとめ及び期末試験で繊維材料、製布工学の理解度及び繊維材料並びに繊維製品の開発や製造設計に関する発想力が習得できたかを100点満点で評価する。 配点（予定）：授業に臨む態度（5%），レポート・発表（20%），小テスト（15%），前半まとめ（25%），期末試験（35%）					
(7)成績評価の基準	繊維材料に関する専門用語や概念、糸の織度などの基本特性、紡績糸や織物、編物の製造方法、基本組織など授業で示した基礎的部分を知っていれば「合格水準にある」。 その上で、繊維材料の構造、性質、紡績糸以外の糸の製造方法や不織布の製造について知っていれば「やや上にある」。 その上で、布の設計にある程度辿り着けるなら「かなり上にある」。 さらに、繊維材料から布の設計に展開できるなら「卓越している」。 ＜評定については次の評価基準を基本としている＞ 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	①予習および復習に必要な資料を適宜配布するので、講義の前後には必ず自習しておいてください。資料の内容について講義中に質問を行うので、返答できる程度に事前学習を行ってください。授業前に小テストを行い、予習効果を確認する場合もある。					

(8)事前事後学習の内容	②この授業は90時間の学修を必要とする内容であり、従って、60時間以上の時間外学習が必要とする。 ③定着度を確保するための小テストを行う場合もある。
(9)履修上の注意	・成績の配点として、前半試験および期末試験以外に、小テスト、レポート、発表、講義中に質問することなども配点する。これらは授業中に行うので、毎回の出席が望ましい。 ・講義中に講義内容を理解できるように、講義に集中すること。 ・講義中に積極的に考えて、コミュニケーションすること。 ・参考書、配布資料をしっかりと確認し、事前に予習しておくこと。 ・配布資料や連絡事項などはeAplsにて確認すること。
(10)質問,相談への対応	随時受け付ける。 研究室は先進繊維棟3階8番室。（メールでも可）
(11)学生へのメッセージ	テキスタイルデザインは繊維工学において基礎的かつ極めて重要な分野であり、しっかりと理解してください。
(12)その他	
【教科書】	指定しない
【参考書】	主に下記のテキストを参考する、その他の参考書は授業中に紹介する。 1.最新テキスタイル工学Ⅱ，西松豊典(編著)，繊維社企画出版，3,000円(税抜) 2.業界マスターに学ぶせんいの基礎講座，繊維学会(監修)，日本繊維技術士センター(編集)，繊維社企画出版，3,000円(税抜) 上記の2冊とも図書館にありますので、活用してください。